

計画地について



まちなか複合拠点
計画地
バスセンター周辺

注3) 総合運動公園の影響を受ける施設は、代替機能や移転調整を行いながら段階的に検討を進めます。



新たな道の駅
計画地
総合運動公園北側

高千穂の
未来のために
今、動き出す

たかちほの杜プロジェクト

新たな道の駅と、まちなか複合拠点施設で、
人が集まり、まちなかににぎわいを生み出す取り組みです。

たかちほの杜プロジェクトは、高千穂に「人が集まる場所」と「暮らしを支える場所」をつくるまちづくりです。新たな道の駅では、観光客や高速道路利用者を受け止め、まちなか複合拠点施設では、図書館、子育て、福祉、交通、交流など、町民の日常を支える機能を集めます。2つの拠点をつなぐことで、道の駅だけで人の流れを止めず、まちなかにも人が訪れ、町全体ににぎわいが広がることをめざします。

なぜ、新たな道の駅が必要なの？

九州中央自動車道の整備により、人や車の流れは大きく変わります。これからの高千穂には、観光の玄関口と広域防災拠点の役割が求められます。

今の道の駅では足りないこと

- ・ 駐車場が不足しやすい
- ・ 出入りに時間がかかりやすい
- ・ 高速道路の玄関口機能が十分でない
- ・ 防災拠点として必要な機能を確保しにくい

新たな道の駅でできること

- ・ 広い駐車場と利用しやすい動線
- ・ 観光案内・物産・飲食機能の充実
- ・ インターチェンジ近接を生かした受け入れ
- ・ 災害時の支援・物資供給拠点



現在の道の駅 高千穂

今ある道の駅を否定するものではありません。

現在の道の駅は、これまで高千穂の観光や物産振興を支えてきた大切な施設です。今後は高速道路利用者を受け止める玄関口、広い駐車場、円滑な出入り、広域防災拠点としての役割がより重要になるため、新たな道の駅に移転を検討しています。移転後の既存施設は、別の形での活用を今後検討します。

町民にとって良くなること

1. 用事を済ませやすくなる

図書館、子育て、福祉、交通、交流などがまとまり、用事を済ませやすくなります。



2. 子育て世代や高齢者が利用しやすくなる

子どもの居場所、学びの場、福祉相談、待合スペースなどを組み合わせた使いやすい場所です。



3. まちなかに人の流れが生まれる

施設に人が集まり、周辺の商店、飲食店、イベント、公共空間へ回遊しやすくなります。



4. 観光と防災の受け止め力が高まる

観光客の受け入れや情報発信、防災機能を高め、町全体の安心と活力につながります。



町民の疑問にお答えします(Q&A)

Q. なぜ2つの拠点なの？

A. 観光の玄関口と暮らしの拠点をバランスよく整えるためです。

Q. 人口減少対策とどうつながるの？

A. 暮らしやすさを高め、若い世代の定住や交流人口の増加をめざします。

Q. 道の駅と街なかはどうつながるの？

A. 地域交通や道路ネットワークを通じて、行き来しやすくしていきます。

Q. 令和8年度は何をするの？

A. 基本計画・概略設計、調査、関係機関協議、住民説明などを進めます。

まだ決まっていないこと

- ・ 施設の規模
- ・ 事業費
- ・ 完成時期
- ・ 既存道の駅の活用方法
- ・ 導入する機能の詳細
- ・ 運営方法

これらは、令和8年度の基本計画・概略設計等を通じ具体化していきます。

いただいたご意見を今後の計画に反映します

住民説明会では、分かりやすい説明、若い世代の参加、道の駅とまちなかの連携、財源自然や公園への配慮などについてや完成時期などの多くのご意見をいただきました。

令和8年度は、基本計画・概略設計を進めながら、住民説明や意見聴取を行い、計画内容を具体化していきます。



まちなか複合拠点施設とは？

図書館、学びの場、子育て支援、福祉相談、世代交流、地域交通など、暮らしに必要な機能をまちなかに集めた「日常の拠点」です。

たとえば、こんな場所です。



本を読む、勉強する



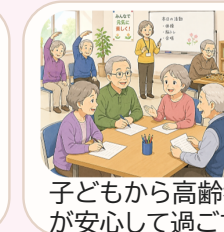
子育てや福祉の相談をする



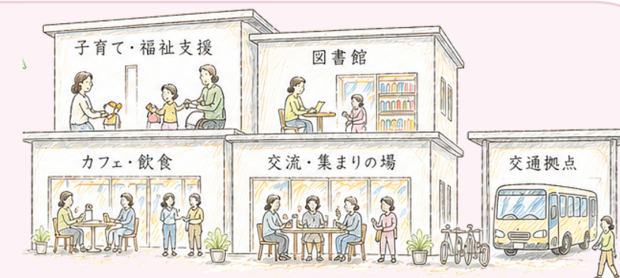
バスを待つ、乗り継ぐ



友人と会う、休む



子どもから高齢者が安心して過ごす



今後の進め方(予定)

令和7年度
基本構想

令和8年度
基本計画・概略設計、関係機関協議
住民説明・意見聴取

※時期は今後検討
詳細設計、関係機関と調整、
住民説明

※時期は今後検討
工事着手

注1) 基本構想を策定したことで、すぐに建物を始めるものではありません。令和8年度から進めるのは、主に高速道路工事で発生する残土の活用を見据えた、計画地造成に関する調査・設計等です。施設の規模、機能、事業費、完成時期は、今後の基本計画・概略設計の中で検討します。

注2) 町全体の財政や優先順位を踏まえつつ、段階的に進めます。

この取り組みは、町民の皆さんと一緒に作っていきます。
基本構想は町ホームページで公表していますので、ぜひご覧いただき、ご意見をお寄せください。

ご意見・お問合せ先
高千穂町 建設課 まちづくり推進係 TEL: 0982-73-1210 Mail: kensetsu@town-takachiho.jp